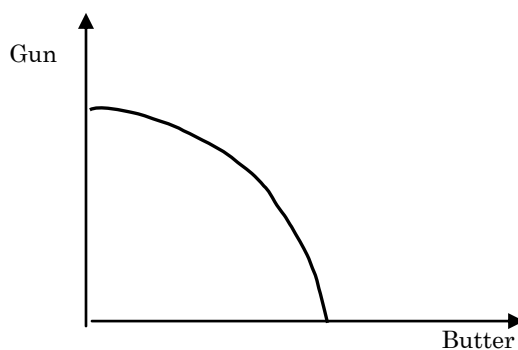


【平成 23 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 2】

☆ 提出締め切り：平成 23 年 6 月 14 日講義開始時

【問1】 次の図のような収穫逓減を示す生産可能曲線について、次(ページ)の条件を満たす点 A～



点 D および異なる生産可能曲線 E,F を図の上に示しなさい。

- (1) 点 A では、この経済にある資源は効率的に利用されておらず、雇用されていない余剰な生産要素が存在する。
- (2) 点 B では、この経済の資源は効率的に利用されており、Gun と Butter 両方が生産されている。
- (3) 点 C では、経済の資源は効率的に利用されているが、Gun のみに生産が特化しており、Butter は生産されていない。
- (4) 点 D で示される Gun と Butter の生産の組合せは、この経済にある資源量では生産が不可能である。
- (5) 新しい生産可能曲線 E の下では、Butter の生産技術が向上して、同量の資源でより多くの Butter が生産できるようになった。
- (6) 新しい生産可能曲線 F の下では、災害により、資源全体の量が減少してしまった。

【問2】 以下の表は、ある経済が与えられた資源量で最も効率よく生産される 2 財の生産量の組合せで、生産可能曲線上の点を示したものである。この表の情報をもとに設問に答えなさい。

- (1) トレードオフと機会費用について説明しなさい。
- (2) 収穫逓減について説明しなさい。
- (3) 表から、X を 1 つずつ増やしたときの限界生産高を求めなさい。
- (4) (3)を用いて、この生産可能曲線が収穫逓減の法則を示しているかどうか判定し、その理由を述べなさい。

X 財の生産量	Y 財の生産量	Y の限界 生産高
0	15	
1	14.5	
2	13	
3	10.5	
4	7	
5	2.5	
6	-3	

【問3】 インド (I) と中国 (C) が繊維製品(F 財)と自動車(A 財)の 2 財を以下の労働力のみで生産する場合について答えなさい。

製品 1 単位当りを生産するのに必要な労働力(時間)

	F 財	A 財
インド	30	240
中国	25	300

- (1) A 財について、絶対優位性がある国はどちらですか？それはどうしてですか？
- (2) F 財について、絶対優位性がある国はどちらですか？それはどうしてですか？
- (3) A 財について、比較優位性がある国はどちらですか？それはどうしてですか？
- (4) F 財について、比較優位性がある国はどちらですか？それはどうしてですか？